

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 精工技研

上場取引所 東

コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 昌利

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,295	108.0	206	—	285	—	55	—
25年3月期第3四半期	3,507	0.1	△122	—	△34	—	△113	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 540百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	6.10	6.09
25年3月期第3四半期	△12.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	23,251	20,078	86.3	2,192.76
25年3月期	20,826	19,576	93.9	2,140.34

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,063百万円 25年3月期 19,562百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,000	100.5	250	—	330	—	50	—	5.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,333,654 株	25年3月期	9,333,654 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	183,569 株	25年3月期	193,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,140,571 株	25年3月期3Q	9,139,983 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては住宅市場を中心に堅調な拡大が続いたほか、欧州も景気後退局面を脱し、回復基調へと転じました。中国をはじめとするアジアの新興国も、勢いは減じたものの依然として成長を維持しています。

わが国経済は、一昨年末に発足した安倍政権による金融緩和等の施策により、長く続いた円高が是正され、輸出企業を中心に採算が改善することとなりました。株高等の機運を受けて個人の消費マインドも改善し、デフレ脱却に向けた動きが広がっています。

当社グループが関わるエレクトロニクス関連や情報通信関連、電子部品関連の市場においては、急激な拡大を続けてきたスマートフォン向けの部品需要にやや減速感が生じている一方、衝突回避システムや自動運転等の技術革新を背景に車載用電子部品の開発に注目が高まっています。

こうした経営環境の中で当社グループは、精機関連と光製品関連の両セグメントの事業拡大に努めました。精機関連は、精密金型技術と精密加工技術をベースに、各種金型や精密成形品、高耐熱レンズ等を製造販売しています。昨年5月には、不二電子工業株式会社を連結子会社に加え、精機関連の成形品に係る事業領域を自動車関連市場へと拡大しました。また光製品関連では、光通信網の敷設に用いられるコネクタ等の各種部品や、その部品を製造するための装置をはじめ、光ファイバ関連技術の応用により、電波の伝送装置や電界を測るセンサー等を製造販売しており、既存顧客の維持と新規顧客の開拓に取り組みました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,295,378千円（前年同四半期比108.0%増）となり、前年同四半期から倍増いたしました。これは期中に不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことや、欧州等の光通信関連設備の敷設拡大に伴い光コネクタ等の販売が伸びたこと、為替が大きく円安に振れたこと等に因ります。損益面では、売上高の増加に伴い営業利益が206,611千円（前年同四半期は122,871千円の営業損失）となりました。また経常利益は、為替差益82,015千円、持分法による投資損失65,713千円等を計上した結果285,423千円（前年同四半期は34,735千円の経常損失）、四半期純利益は55,782千円（前年同四半期は113,790千円の四半期純損失）となり、前年同四半期から大幅に改善し、黒字を計上することができました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 精機関連

光ディスク成形用金型の新規引き合いが停滞する中、金型の交換部品やメンテナンスの売上は堅調に推移しました。並行して光ディスク成形用途以外の一般金型の需要開拓、医療関連やバイオ関連といった新たな市場に向けて精密な成形品を供給するための技術開発、顧客開拓に取り組み、新たな引き合いが生じています。また高耐熱レンズ関連では、顧客の機種変更に伴う仕様の見直しにより受注が減少する中、中国の生産子会社に、スマートフォン等のカメラ用途に開発した高画素レンズの量産体制を確立しました。昨年5月に連結子会社に加えた不二電子工業株式会社は、自動車用センサーの機構部品の販売が好調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の精機関連の売上高は3,875,405千円（前年同四半期比348.3%増）となりました。営業損益につきましては、光ディスク成形用金型の新規金型や高耐熱レンズの売上が減少したことから、19,526千円の営業損失（前年同四半期は159,778千円の営業損失）となりました。

② 光製品関連

光通信関連市場は、スマートフォンの世界的な普及やインターネットを介して流通する動画データの増加等に伴い、世界的に光通信インフラの増強が続いています。これにより、安定的な大容量高速通信を実現するデジタルコヒーレントに対応する光コネクタや、狭いスペースでも多数の配線を実現する多芯コネクタ、光通信用部品製造に欠かせない光コネクタ研磨機や検査装置等の需要が増加しています。一方、規格品が多い光通信用部品はコモディティ化が著しく、価格の下落が恒常化しているため、材料の調達コストの低減や生産性の向上、製品設計や仕様の見直し等の原価低減に取り組みました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は3,419,972千円（前年同四半期比29.4%増）となりました。売上高の増加に伴い、営業利益は226,138千円（前年同四半期比512.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,251,865千円となり、前連結会計年度末から2,425,298千円増加いたしました。流動資産は12,901,409千円となり、前連結会計年度末から1,966,025千円減少いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社の株式取得等により、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は10,350,456千円となり、前連結会計年度末から4,391,324千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれん等の固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,173,312千円となり、前連結会計年度末から1,923,432千円増加いたしました。その主な要因は、不二電子工業株式会社を連結子会社に加えたことにより、買掛金や退職給付引当金等が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は20,078,552千円となり、前連結会計年度末から501,866千円増加いたしました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、平成25年5月10日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,580,693	8,569,211
受取手形及び売掛金	1,121,795	2,185,711
商品及び製品	253,344	379,721
仕掛品	255,659	433,488
原材料及び貯蔵品	456,952	740,999
未収還付法人税等	11,071	18,772
その他	193,003	579,861
貸倒引当金	△5,085	△6,357
流動資産合計	14,867,434	12,901,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,017,659	5,168,697
減価償却累計額	△2,369,171	△3,298,216
建物及び構築物(純額)	1,648,488	1,870,480
機械装置及び運搬具	2,109,670	4,432,023
減価償却累計額	△1,875,514	△3,723,195
機械装置及び運搬具(純額)	234,156	708,828
土地	2,035,325	2,246,539
建設仮勘定	206,824	367,873
その他	1,685,348	4,359,487
減価償却累計額	△1,459,702	△3,885,977
その他(純額)	225,645	473,509
有形固定資産合計	4,350,440	5,667,231
無形固定資産		
のれん	—	2,374,034
顧客関連資産	—	633,071
その他	56,605	72,297
無形固定資産合計	56,605	3,079,403
投資その他の資産		
投資有価証券	550,480	558,075
投資不動産	932,756	944,802
その他	68,848	100,941
投資その他の資産合計	1,552,085	1,603,820
固定資産合計	5,959,131	10,350,456
資産合計	20,826,566	23,251,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	189,650	1,179,122
未払法人税等	24,109	185,816
賞与引当金	—	33,759
その他	380,582	683,349
流動負債合計	594,341	2,082,048
固定負債		
退職給付引当金	411,133	656,358
長期末払金	145,370	145,370
長期預り保証金	77,098	64,248
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	2,899	153,126
その他	—	53,123
固定負債合計	655,538	1,091,264
負債合計	1,249,880	3,173,312
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,795,903	2,790,471
自己株式	△427,246	△404,787
株主資本合計	19,731,759	19,748,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	927	5,054
為替換算調整勘定	△170,079	310,080
その他の包括利益累計額合計	△169,151	315,135
新株予約権	14,078	14,630
純資産合計	19,576,686	20,078,552
負債純資産合計	20,826,566	23,251,865



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,507,104	7,295,378
売上原価	2,306,825	5,244,478
売上総利益	1,200,279	2,050,899
販売費及び一般管理費	1,323,151	1,844,288
営業利益又は営業損失(△)	△122,871	206,611
営業外収益		
受取利息	21,773	15,559
受取配当金	347	393
業務受託料	21,564	—
投資不動産賃貸料	30,189	37,162
為替差益	33,092	82,015
その他	8,960	25,206
営業外収益合計	115,927	160,337
営業外費用		
不動産賃貸原価	10,687	12,275
支払手数料	15,844	—
持分法による投資損失	—	65,713
その他	1,260	3,536
営業外費用合計	27,791	81,525
経常利益又は経常損失(△)	△34,735	285,423
特別利益		
固定資産売却益	1,881	1,081
特別利益合計	1,881	1,081
特別損失		
固定資産売却損	—	141
固定資産除却損	4,818	—
特別損失合計	4,818	141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△37,673	286,363
法人税、住民税及び事業税	73,166	250,799
法人税等調整額	2,950	△20,869
法人税等合計	76,117	229,930
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△113,790	56,433
少数株主利益	—	650
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,790	55,782

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△113,790	56,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	4,132
為替換算調整勘定	2,884	426,420
持分法適用会社に対する持分相当額	10,828	53,739
その他の包括利益合計	13,375	484,292
四半期包括利益	△100,415	540,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,415	540,069
少数株主に係る四半期包括利益	—	655

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	864,424	2,642,679	3,507,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	864,424	2,642,679	3,507,104
セグメント利益又は損失(△)	△159,778	36,906	△122,871

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,875,405	3,419,972	7,295,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,875,405	3,419,972	7,295,378
セグメント利益又は損失(△)	△19,526	226,138	206,611

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「精機関連」のセグメント資産が、6,414,656千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「精機関連」セグメントにおいて、不二電子工業株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、2,374,034千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。